

おうらまち

議会だより



平成22年 9月定例会

中野幼稚園稲刈り

平成21年度決算認定される（一般会計・各特別会計）

平成22年度補正予算可決（一般会計・各特別会計）

一般質問 【7人の議員が町の考えを問う】

石井悦雄議員、横山英雄議員、本間恵治議員、大野貞夫議員
小島幸典議員、小倉 修議員、小沢泰治議員

- 可決された議案…………… 3～4
- 決算質疑…………… 4～5
- 一般質問…………… 5～11
- わたしのふるさと等…………… 11～12

No 125

平成21年度の決算を認定

一般会計歳出総額84億9,413万円

町税収入37億7,167万円（歳入総額の42.2%）



耐震補強・大規模改造工事が行われた中野小学校

9月定例会

9月定例会では、平成21年度の一般会計決算をはじめ、各特別会計の決算が提出されました。各常任委員会において審査を行い16日の本会議で各会計ともそれぞれ認定されました。

平成21年度の一般会計決算額は、前年度と比較して歳入が15億2611万円の大幅増となりました。繰入金、国庫支出金、地方交付税等が大幅に増加した一方、町税、繰越金、自動車取得税交付金等は減となりました。繰入金の増は、庁舎建設基金条例の廃止による繰入れ、国庫支出金の増は、定額給付金給付事業費補助金、地域活性化・経済危機対策臨時交付金等の新設によるものです。

町税収入は、37億7167万円であり、歳入総額の42.2%となりました。なお、町税については、平成21年度も多額の不納欠損処理が行われ、収入未済額も、前年度より928万円増加しました。税は貴重な収入源であり、その滞納は、毎

年繰り返し意見書で述べられておりますが、住民の税負担の不公平感につながる、極めて重大な問題です。平成21年度においては、管理職による徴収チームの編成や収納のための特別窓口の開設など、さまざまな努力が行われました。こうした努力を継続しながら、徴収率の向上に向け、なお一層取り組みを強められるよう要望いたします。

歳出においては、予算現額88億2888万円に対し、決算額は84億9414万円で、執行率は96.2%となっております。

投資的経費は、前年度比56.2%の増となっております。平成21年度の事業としては、中野小学校耐震補強・大規模改造工事、町道幹線6号線整備事業などに

取り組み、継続的事業としては、町道整備事業、用悪水路の改修事業、公園整備事業、土地区画整理事業等の生活環境整備事業を始め、第五次総合計画で計画された諸事業の推進がなされました。

經常的事業についても、広範囲にわたる事務事業を推進し、環境保全・住民福祉の向上に寄与されました。

平成21年度の財政状況の概要については、以上のとおりであり、堅実な財政運営に努力されていることがうかがえます。実質単年度収支は、昨年度に引き続き黒字となりました。義務的経費のうち、人件費及び公債費は着実に減少を続けています。しかし、今後も町税等の落ち込みの回復には相当の期間を要すると見られ、その一方で扶助費を中心に財政需要がますます増大していくことは明らかです。引き続き、各事業運営の効率化をより一層推進されるよう要望します。

老朽化が進む公共施設や町有設備については、限ら

れた予算の中で、重要度や緊急性を考慮しながら、年次の・計画的に整備を進めていくことが大切です。この点について、庁内外の合意形成に向けた取り組みを進めていかれるよう要望します。

なお、予算・職員数ともに減少傾向にある今日、限られた財源を最大限に生かすためにも、一人ひとりの職員の力量をより高めていくことが、極めて重要になっていきます。また、組織を簡素化し、効率的な事務事業の執行ができるシステムづくりも欠かせません。これらの問題についても、管理職を中心に全庁で情報を共有し、長期的・計画的な人材育成と活用の方法を研究・検討しながら、積極的に改善の取り組みを強めるよう要望するものです。さらに、NPO法人の設立を支援するなど、より住民が参加する行政運営の在り方についても、十分な検討を加えられるよう望みます。

(決算審査意見書抜粋)

■平成21年度決算額

会 計 別	歳入総額	歳出総額	差 引 額
一 般 会 計	89億3,061万1,474円	84億9,413万6,358円	4億3,647万5,116円
国民健康保険特別会計	31億1,179万6,437円	27億8,469万6,805円	3億2,709万9,632円
老人保健特別会計	3,865万1,729円	2,961万5,275円	903万6,454円
後期高齢者医療特別会計	1億7,973万7,712円	1億7,750万8,966円	222万8,746円
介護保険特別会計	14億2,481万5,997円	14億0,587万3,547円	1,894万2,450円
下水道事業特別会計	3億9,609万0,734円	3億7,493万0,964円	2,115万9,770円
学校給食事業特別会計	6億4,520万0,861円	2億4,984万6,964円	3億9,535万3,897円
水 道 事 業 会 計	5億0,135万3,109円	4億6,960万5,590円	3,174万7,519円 (当年度純利益)

可決された議案

9月定例会

東毛広域市町村圏振興整備組合の規約変更

組合議員の定数削減などを行いました。

■邑楽町税条例の改正

地方税法等の改正に伴い条例を改正しました。

■町道の路線認定及び廃止

鶉土地区画整理事業等により、町道の路線認定及び廃止をしました。

【報告】

平成21年度健全化判断比率及び資金不足比率

地方公共団体の財政の健全化に関する法律に基づき健全化判断比率等が報告されました。

【人事案件】

■人権擁護委員の推薦

法務大臣から、3年の任期で委嘱されている委員3人のうち、岩崎公珍さん(秋妻)・堀越菊太郎さん(赤堀)が、平成22年12月末に任期満了となることから、引き

続き両氏を推薦することの意見を求められ、同意しました。

■公平委員の選任

平成22年9月15日で任期満了となる公平委員の選任について、橋本康正さん(赤堀)を再任することに同意しました。

■固定資産評価審査委員の選任

平成22年9月21日で任期満了となる固定資産評価審査委員の選任について、中村晃さん(赤堀)を再任することに同意しました。

【契約の締結】

■邑楽町立学校給食センター新築工事

(建築工事)
契約金額(消費税込)
5億3550万円
契約の相手方
邑楽町赤堀
株式会社徳川組

9月定例会

■平成22年度補正予算額

会 計 別	予 算 現 額	補 正 額	予 算 総 額
一 般 会 計	69億8,143万円	6億1,862万円	76億0,005万円
国民健康保険特別会計	29億0,490万円	2億5,907万円	31億6,397万円
後期高齢者医療特別会計	2億0,968万円	223万円	2億1,191万円
介護保険特別会計	14億2,392万円	1,954万円	14億4,346万円
下水道事業特別会計	3億4,074万円	2,106万円	3億6,180万円
学校給食事業特別会計	2億3,684万円	1,638万円	2億5,322万円
水 道 事 業 計	収益的収入	5億2,570万円	5億3,242万円
	収益的支出	5億1,880万円	5億1,916万円
	資本的支出	2億8,811万円	2億8,821万円

(電気設備工事)
契約金額(消費税込)
5481万円
契約の相手方
桐生市広沢町
三興電気株式会社

(機械設備工事)
契約金額(消費税込)
1億7010万円
契約の相手方
前橋市古市町
三洋電機ファシリティエン
ジニアリング株式会社

【決議案】
■邑楽町長の問責決議案
邑楽町長の問責決議案が
提出され、賛成多数で可決
されました。

平成22年度 一般会計補正予算 採決

記名投票

○賛成票

小島陸夫議員 田部井健二議員 山田晶子議員 岩崎律夫議員
加藤和久議員 小島幸典議員 立沢稔夫議員 細谷博之議員

×反対票

遠藤幸夫議員 大野貞夫議員 小沢泰治議員 小倉 修議員
横山英雄議員 本間恵治議員 石井悦雄議員



洋式化された中野東小学校トイレ

Q & A

決算質疑

決算の主な質疑(要旨)

一般会計、各特別会計の決算にあたり、一年間事業を行った行政効果など、どれだけ成果があったかを中心に、議会で質疑が行われました。以下は、抽出した項目の要旨です。

Q 横山英雄議員 邑楽町公民館に洋式トイレは何器あるか。

A 生涯学習課長 身障者用のトイレが1器ある。

Q 横山英雄議員 今のこの時代に、何故、洋式トイレを設置しないのか。

A 町長 予算の関係もあるが前に進めていきたい。

Q 大野貞夫議員 学校施設の整備事業でのトイレ洋式化への改修、進捗状況はどうか。

A 学校教育課長 和式・洋式、約半々になったと考えている。全てを洋式トイレとは考えていない。

Q 遠藤幸夫議員 平成21年度の中学生国際交流事業は、新型インフルエンザにより中止となった。平成22年度も予算に計上されなかった。今後どのように考えているか。

A 町長 今後については、現段階では考えていない。

Q 本間恵治議員 邑の映画会を小学校の体育館で何

の危機感も無く行い、片や中学生国際交流は中止。新型コロナウイルスエンザ対策として対応に矛盾があるのでは。

A 町長 時期の問題もある。映画会は11月であり、国際交流はその半年前であった。

Q 石井悦雄議員 国民健康保険特別会計の残金額が大きすぎるのでは。

A 町長 医療給付の支出は乱高下が激しく、内部留保は必要である。

Q 小倉修議員 国保特別会計は、一般会計からの繰り入れや滞納額の増にもかかわらず、約2億4000万円の繰り越しがあり、予算の見通しが甘いのでは。

A 町長 前期高齢者の交付金が前年度に対して24.3%増になった結果、今後の推移を見守っていき



一般質問

一般質問は、9月8日及び9日に行われました。町の行政事務などについて執行部の考えをただし、活発な議論が行われました。

教育問題について

石井悦雄議員 教育委員の問題については、多くの方々からいろいろな意見が出された。確認の意味で、それは27日の日、本人から取り下げていただきたい旨の発言があったが、誠かどうか。

町長 お願いする予定者からそのようなことがあった。

石井悦雄議員 中野小のプールが老朽化し改修されたが、見てみると木の葉が落ち、時期によってはアメヒトも落ちるようだ。環境

的に良くない。長柄小プールも同じ時期の建設である。子どものために大人が我慢して、ぜひ新しいプールの建設に向けて計画を立てて欲しい。

町長 中野小プール、加えて長柄小プールもそれぞれが幼稚園の敷地内にある。建設年が同時期ということ、大変漏水等もあり、老朽化していることは承知している。旧役場跡地の利用計画の中で、財産が教育財産ではないので、それを戻すということを考えれば、

最終的にはプールの建設が一番妥当性があると思う。

石井悦雄議員 今年は本当に異常気象である。救急車で搬送された方が邑楽町で21名、館林で日本一に記録された温度が14回あったようだ。真夏日といわれる30度以上の日が73回、猛暑

日「35度」以上が34日記録されたようである。館林市においては児童・生徒のためエアコンを設置するようだ。館林市とそんなに差はない当町にとって、大きな財産であり、宝であるお子さんのために、ぜひこれは取り入れて欲しい。



旧邑楽町役場跡地

今後十分検討

町長 館林市の検討については新聞にも掲載された。確認をしたところ、来年度以降検討するようだ。全教室にととなると、何億ものお金が必要になる。すぐにやる、やらないということについては言明出来ない。今後の対応については十分検討させていただく。

石井悦雄議員 教育長が不在であるから、町長が真剣になって子どもの環境をよくするのには、町民の方々は無駄使いだなんて決して言わないと思う。自信をもつてやって欲しい。

町長 そのような状況になったら、ぜひ議員の皆さん方にもご指導とご協力をお願いしたい。

石井悦雄議員 有効利用、有効活用というか、今少子化が進む中で、空き教室がある。空き教室の利用は。

町長 小・中学校に空き教室があるということは現在、そのとおりである。しかし、その教室についての使用について、それぞれの少人数学級であるとか、会議・学習室ということ、現在は有効に利用されている。空き教室が多く増えた

場合の利用は老人福祉という具体的な意見もあったが、少子化が進んでいく中で、有効活用しなければならぬ。

その他の一般質問

◎財政の運用について

◎土木行政について

町政全般について

横山英雄議員 町長になって2年9カ月。ゴロピカリで地産地消はよいのか。

町長 あさひの夢の作付面積が多い。食味も収量もよい。状況が変わればゴロピカリに限らず品種も変わる。

横山英雄議員 全町民に食べさせていただく。250ha・2万俵。農家の方は、金子さんが町長になれば米が高く売れると一生懸命応援した。給食センターで使うのが地産地消か。話が全然違う。うちの米をいつ買ってくれるのかと言われたこと

はないか。

町長 具体的に伺っていない。1万8000円で買っていただければという話にした。

横山英雄議員 鞍掛工業団地と国道354を結ぶ道路に信号機がついたが、この道路はまだ測量だけで地権者との交渉も行われていない。何年かかるのか。また、協力が得られるのか。

町長 問題は費用。町の財政負担は大変なことだ。国・県の事業認定が得られれば、半分位で済む。単年度事業



10年を振り返り

私は平成12年8月に邑楽町に転居してきました。長男が5歳、次男が2歳の時です。理由は、長男は気管支が弱く、少しでも空気の良い所だと思い考えた末上司に相談したところ、「群馬はどうだ」ということで転居することになりました。幸いにも長男もこちらに来てから大きな病気もせず、元気に学校に通っています。次男ですが、今でも忘れられない出来事があります。引越してきた日、多分生まれて初めてだったのだろう、大きなカミナリに驚き、妻の周りを泣き叫びながらグルグル廻っていました(笑)。そんな次男も小3から野球を始めました。最初は心配しましたが、監督やコーチの熱心な指導のおかげで、最終学年の今年は県大会に3回出場することができ、県ベスト8の成績を残せることができました。

邑楽町に来て、10年が過ぎましたが、家族皆、充実した生活を送っています。

休憩室

REST ROOM



福島 健
(前原・4区)

ではなく、2・3年の継続事業であれば可能だ。

横山英雄議員 助成があればというが買収はまだ進んでいない。本当にやる気があるのか。

鋭意努力

町長 事業認定が先だ。鋭意努力を重ねていく。

横山英雄議員 教育委員の任命について、予定議案の取りやめの経過報告書が各議員に配付され、「8月20日教育委員の任命予定者に再度依頼し了解を得る。」とある。27日の全協で、電話で予定者より取り下げの申し出を受けたと答えたが間違いないか。

町長 8月24日に電話をいただいた。内容が複雑なのでお邪魔した。取り下げの話も出たが、私はすでに全協や総務文教常任委員会に報告しており、27日の朝も電話ではなくお邪魔して、

ぜひとお願いしたが、予定者本人の申し出が強いので、それを受けた。

横山英雄議員 先ほど、石井議員から、「うそはついていないのか」と念押しされた。27日に電話で断られたと言った。20日から27日までの経過には何の報告もな

い。突然、断られた。誰もが「何だやつは。こんな非常識か。」と思っただろう。20日にやると言っておいて、一週間後に断ってきたと、そういうことを議員に報告した。27日に断られた。間違いないか。

町長 電話ということで申し上げたが、それは訂正し



国道354号線に設置された信号機(狸塚地内)

家庭菜園に挑戦

最近、夫婦で家庭菜園にチャレンジしています。経験・知識なしで畝作りから始める一年生です。白菜・大根・かぶ等々、どうなるか判らないままに、豊かな実りを夢に鋤を振りまわしています。

四季がはつきりしていて、草花が好きな私には、この邑楽町が気に入っています。



休憩室

REST ROOM



中 安 晴 子
(十三坊塚・6区)

今年の夏は、連日35度を超す猛暑で、夕方になっても気温が下がらず、息苦しさを感ずる程でした。町の広報でも熱中症予防のアナウンスが流され、一日一日が暑さとの闘いでした。

今年も南窓側にゴーヤーを植え、緑のカーテンにしました。白いゴーヤーと緑のゴーヤーの苗が育ち、暑い日差しを遮ってくれました。白いゴーヤーは苦みが少ないのでサラダに、緑のゴーヤーは佃煮にしてと、大いに食卓を賑わせました。

たい。お邪魔したとき本人の考えが強かったので、やむを得なく取り下げた。

横山英雄議員 相手の方がいないことをいいことに……。

本人は驚いていた。「本当ですか。私は前に断ってある。」と。立派で真面目な方を最後はそんなふうにあなたは捨てた。議場で27日に断られたと言っているが、

本当か。
町長 意志が固く、私自身がその申し出を受けた。

横山英雄議員 本人は前もって断っている。27日ではない。議場でうそをついている。

町長 27日の朝お邪魔したのが申し出が強かった。行つたのが27日ということだ。

町道幹線19号について

本間恵治議員 町長は当初、話し合いによる円満な解決をあくまでも強調したが、強制執行へ向けての事業認定図書策定委託料500万円が計上され、わずか1票差で可決された。討論では、賛成の意見を言った方が3人。反対を表明した7人の方全員が意見を言った。よく聞くと、町長のことをあまり良く言っていないけれども賛成した方。区長会・土木委員会のほうから請願

が出ているから賛成すると言った方もいる。私は、区長や土木委員で強制執行するような形で早くやりなさいと指示される方は、全員ではないと思う。執行側がきちんとしないから、早くやりなさいとお願いを町長にした。それを後ろ盾のような考えのもとにやっていると思う。町長は区長や土木委員の出したその請願について、どのような受け止め方をしているのか。

町長 一日も早く供用が開始できるように、皆さんが思いを持っていただいたと受け止めている。

本間恵治議員 予算を計上してとった500万円については、区長や土木委員がどのように思っているのか。

町長 特にご意見を伺っていないので承知をしていない。

本間恵治議員 そういう言い方が人を食うのだ。まだ聞いてないから答えられないなど。あなたがどういうふうにその人たちの思っているか、その思いを聞きたい。

一日も早い供用を

町長 一日も早い供用ができるようにという思いだろうと思っっている。

本間恵治議員 強制執行に移るこの予算をとったこと



町道幹線19号線

を、区長や土木委員から話を聞いてないが、どのような思いで受け止めているのか聞きたい。

町長 仮定ということの話なので、お答えできない。

本間恵治議員 邑楽町では今までにいろいろな道路を拡げてきた。たくさんさんの協

力があつて、みんな大過なくここまでやってこられたと思う。その人たちの気持ちと強制執行に移る段階の予算をとってしなければならぬ基準があるのか。

町長 特に基準はないと思う。協力をいitたく、同意をいitたく中でどうしても協力いitたけないという部

分になれば、そういった手法も考えられる。

本間恵治議員 今まで道路を拡げるために、協力していただいた人たちの厚意を無にするような気がする。

今後、お金を使わなくても済む努力を続けていきたいと思うが。

町長 補正予算500万円

町の老人福祉問題について

大野貞夫議員 町の老人福祉についての現状、将来の展望について、どのように考えているか。

元気に健康で

町長 今、町の高齢者人口の割合は、20・79%で、大変高い割合を占めている。これからの生活・人生をどのように進めていくかは、重要なことと思っている。

についての可決を重く受け止めていき、地権者の方には円満な解決が図れるように今後も努力をしたいと思っている。

その他の一般質問

◎説明責任について
◎人事異動について
◎教育委員の任命について

町は高齢者の保健福祉計画、介護保険の事業計画に基づいて進めている。元気に健康で生活できるということが大切と思っている。

大野貞夫議員 65歳から74歳の第一号被保険者と75歳以上の後期高齢者は、総人口の5人に1人強の人員構成になっている。そして、このために使われる保険給付費は、21年度の決算額で14億の金が使われている。現実にはいたし方のないところであるが、その前に、この町で本当に生き生きと自力で生きていく、そのための環境が重要になってくるのではないか。

町長 そういう点では、地域包括センターのみだけではフォローできない。したがって、社会福祉協議会での高齢者の事業、また、保険年金課とも一体となった形での支援が大切と思っている。

大野貞夫議員 一つここで取り上げたいのは、生きがい活動支援通所事業「よつていがつせ」。私はこれからの町の老人福祉を考える場合に、この「よつていがつせ」は大変素晴らしい活動をしていると思う。と同時に、将来のモデルケースになっていくのではないか。各行政区に一方所位あれば理想だが、せめて中野・長柄・高島地区に一方所位あることによって、お年寄りが病気になるらないで、元気に毎日が送れるような環境づくりが必要と思うが。

町長 大変重要なことでも

あり同感である。これから事業をどうするかということもあるが、各地区に民生委員・ボランティアを中心として、地域にあった名称を使っているところもある。この高齢者対策の中では重要な位置づけと考える。

大野貞夫議員 21年度の介護認定の中で、申請に対して要支援1と2、要介護1程度の人が約410人。半数に近い人たちがこのレベルである。こういう施設が、中野・長柄・高島にあるとすれば、十分楽しく一日を過ごす、このような場になる。病気になるらないで、元気に毎日暮らせる環境づくり

教育委員任命について

小島幸典議員 町教育委員は現在4人であり、昨年9月より教育長が欠員になっている。地方教育行政の組織及び運営に関する法律中、第2章第1節教育委

員会の設置、委員及び会議の第3条（組織）に、「教育委員は5人の委員をもって組織する」とある。また、第4条（任命）には、「委員は当該地方公共団体の長の

り、ひいては、医療費の抑制にもつながる。私は、いつも提案という形で質問させていたでいる。ぜひ具体的な考えを早急に持つてもらいたいと思うが、町長の考えは。

町長 大変貴重な提案をいただき、ありがたい。これからの事業に生かしていきたい。前向きに取り組んでいきたいと思う。



被選挙権を有する者で、人格が高潔で、教育、学術及び文化に関し識見を有するもののうちから、地方公共団体の長が、議会の同意を得て、任命する」とある。町長は選定基準をどう決めているか。

町長 人格が高潔で、教育、学術及び文化に識見が高い方を基準と考えている。

小島幸典議員 教育委員の地域バランスを学区区で見ると、邑楽町の4小学校の合計児童数は1553人であるが、462人の子供の在籍を誇る中野小学校区からの任命はない。町長はこのことをどう考えるか。

町長 教育委員は、町全体の教育行政をつかさどると認識している。

小島幸典議員 中野小学校区からの教育委員が現在いない。地域バランスを町長はどう思うか。

町長 過去には4つの小学校区からの人選もあった。しかし、いつも全学区からということでもない。気

持ちはわかるが、幅広い地域から人選、任命することが大切だ。

小島幸典議員 そうであれば、公募制にしたらいい。教育委員の任命は全国から公募でき、今町長が話したように、識見と人間として最高の精神を町民にわかるよう指導してくださる大学教授を迎えることや、一生懸命60歳70歳まで汗流して働いた人たちが、私が教育委員になりますと。一つの例が君原健二さんや流行作曲家も教育委員に選定されている。公募すれば必ず、私が一生懸命やると応募してくる。公募制をどう考えるか。

町長 既に公募で実施され、採用されているところも私自身承知している。公募制による人選は一つの方法ではある。大学の教授や専門的知識を持つ人が求められるメリットは確かにある。しかし、私は町民や地域のことがかかる人という点を大切にしたいので、慎重にならざるを得ない。よって

現時点では公募制については考えていない。

小島幸典議員 もう一度聞くんが、これから教育委員の選定はどう考える。

早期補充を

町長 一日も早く欠員の補充をしたい。

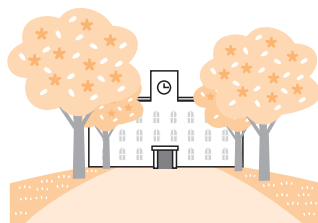
小島幸典議員 一日も早くなら広報おうらで公募したらどうか。全国公募ではなく、邑楽町近在と町の学校

に勤務した人とか具体的な方法を出さないと選定できない。公募制をお願いする。

町長 現状では公募制は考えていない。

その他の一般質問

◎教育長について
◎北部バス路線の運用改革を



候補者がわかる 選挙公報の発行について

小沢泰治議員 邑楽町議会議員選挙や邑楽町長選挙で立候補者全員が一目瞭然にわかる、邑楽町選挙管理委員会発行の選挙公報（印刷物）の発行をぜひ実施していただきたい。①有権者②立候補者③町役場行政④町

選挙管理委員会の立場からについて、町長と選挙管理委員会書記長に伺いたい。有権者の立場からは投票に行き際、立候補者全員の資質・主義主張・経歴など選挙公報一枚で比較し知ることができ、積極的投票、か

つ長期保存もでき、非常に有効で便利な一枚だと思うが、町長に伺いたい。

町長 選挙公報の発行については、公職選挙法の中でもその発行が認められている。有権者の立場で考えれば、候補者の考え方や意見等々一目瞭然にわかり、それも個々でなく一枚の選挙公報ということで利点もある。

小沢泰治議員 立候補者の立場からは、邑楽町約9000世帯、選挙期間5日間の制限、自分の思いを配るのは非常に困難である。主義主張など町民に価値判断していただくために、選挙公報は非常に素晴らしい。立候補者の立場からも公報の発行を。

町長 候補者の思いがきちんと有権者の方に伝えることができるので、条例等の作成はあるが、良いことである。

小沢泰治議員 役場行政運営の立場からは、投票率アップが図れば、2万8

議会の動き

■ 8月

- 18日 全員協議会
- 22日 おうら祭り
- 24日 議会運営委員会
- 25日 群馬県後期高齢者医療広域連合議会定例会
- 26日 総務・文教常任委員会、厚生・環境常任委員会
- 27日 建設・経済常任委員会、全員協議会
- 30日 全員協議会

■ 9月

- 7日～17日 9月定例会
(本会議、議会運営委員会、各常任委員会
全員協議会、広報委員会)
- 22日 戦没者追悼式
大泉町外二町環境衛生施設組合議会
- 27日 太田市外三町広域清掃組合議会

■ 10月

- 3日 町民体育祭
- 5日 議会広報委員会編集会議
- 19日 議会広報委員会校正会議
- 20日 総務・文教常任委員会、全員協議会
- 28日 群馬県町村議会議長会議員研修会
- 29日 邑楽館林医療事務組合議会
館林地区消防組合議会

議会を傍聴しましょう

次回の定例会は、12月10日から16日を予定しています。

住所・名前・年齢を受付簿に書くだけでどなたでも傍聴できます。

役場庁舎1階ロビーのテレビにおいても、本会議の様態を中継していますので、お気軽にご覧ください。

議会の会議録(議事等の経過をそのまま記録したもの)は、図書館、邑楽町公民館、産業研修会館(長柄公民館)、勤労青少年ホーム(ヤングプラザ)に置いてあります。また、ホームページにも会議録全文を掲載していますので、ご覧ください。

URL <http://www.town.ora.gunma.jp/gikai>

詳しくは、議会事務局まで

☎88-5511(内線300)

〇〇〇町民の中の有権者のより多くの意志が反映された、議員あるいは町長になる。もろもろの行事等についても自信を持って行政運営執行ができるのではないかな。

小沢泰治議員 選挙管理委員会の立場からは、短い選挙期間(5日間)で本場に忙しい作業である。全戸に選挙公報が配布されるので、客観的判断を得ることができ。本場に公平・公正・クリーンである。ウソ・でたらめがない。邑楽町の現状をみれば、特に必要なのと私は判断する。全町民の関心が高まり、選挙公報の効果は素晴らしいものが

町長 発行については、選挙管理委員会の中での話し合い、条例は議会での協議、議決。私としては、選挙公報の発行の必要性は認めたい。

必要性は認めたい

あると思うが。

小沢泰治議員 選挙管理委員会書記長の立場から選挙公報4項目について伺いたい。

選挙管理委員会書記長 投票率アップにつながるので大変よろしいことだと思う。今後、選挙管理委員会の協議を踏まえ検討させていただき、技術的な課題はクリアしていきけると思う。

一般質問の掲載について

小倉修議員の一般質問は、本人の申し出により掲載されていません。

広報委員会としては、掲載を強く要望しています。

わたしのふるさと



【東京都墨田区東駒形】

佐藤 孝恵
(十三坊塚・6区)



建設中の東京スカイツリー

私が生まれた時(昭和19年11月)は戦争のまっただ中で、後に母親の話によると空襲は私が生まれて3日目だったそうです。茨城に疎開し、その後母の実家の福島県大塩村にて生活、終戦となり父親が迎えに来て墨田区下町での生活となりました。墨田区は向島区と本所区が一つになって出来た町で、隅田川堤の「墨堤」の呼び名の「墨」と隅田川の名の「田」から名付けられた区名だそうです。毎年9月中旬には各町内でお祭りがあり、5年に一回本祭りがあって牛車が出、2日間かけて全町内を練り歩き、3日目には各町内の50基の「みこし」が勢揃いし、芸者さんが先導しそれは見事な祭りです。そして、毎年7月最後の土曜日には有名な「隅田川の花火大会」があります。現在では、建設中の東京スカイツリーが姿を現

し見学者が大勢これら賑っているそうです。完成は平成24年とのこと。

昭和52年、主人の仕事の関係で墨田区から邑楽町に越して来ました。現在は、篠塚駅北のお好みもんじゃの店で愛称「もんじゃのおばちゃん」で毎日楽しく仕事をしております。東京スカイツリーが完成したら東武小泉線から乗り継いで出掛け、ぜひ登って見たいと思っております。

編集 後記

今年の夏は記録的な猛暑が続き、熱中症になられた方が多かったそうです。秋の気配がなかなか見つからない日々でしたが、いつの間にか朝夕めっきり涼しくなりました。

管内の小・中学校や幼稚園、保育園の運動会も終わり、応援に駆けつけた皆様もお子さんやお孫さんの活躍と成長ぶりにさぞや驚き、喜ばれたことでしょう。

町民体育祭も秋晴れの中、多くの方々が参加し開催されました。行政区対抗では1組で前谷東原が初優勝を果たし、2組では本郷江原が7年ぶりに優勝旗を手に入れました。選手・役員の皆様大変お疲れ様でした。

町議会においても9月7日から17日までの11日間、熱い議論が展開されました。広報委員会では、議会の様子を正しくお伝え出来るように、委員一同頑張っています。今後とも議会だよりのご愛読をよろしくお願いいたします。

(小島陸夫記)